

令和4年度 学校経営計画及び学校評価

1 めざす学校像

生徒の個性を伸ばし、豊かな人間性を育み、志を持って不確実な時代を切り拓く力を育てる学校

～ 「茨西 PRIDE」のもと、茨西につながるすべての人が「TEAM 茨西」として、生徒それぞれの「志をカタチに」する ～

- 【生徒に育みたい力】 ◇ 確かな学力を基に、高い志を持ち、グローバル社会を生きる力
◇ 生徒が自己肯定感を持ち、社会人として自律できる力
◇ 自分の周りの人、地域、世界とつながる力
- 【教職員に求める力】 ◇ 同僚性を高めチームとして互いに協調し、真摯に生徒に向き合う力



2 中期的目標

1. “確かな学力”の育成

(1) 生徒の学習支援の強化

- ア 授業規律の一層の徹底
イ 学習支援体制の構築と教育産業の有効利用による自学自習の拡充
ウ 生徒一人一台の学習端末の効果的な活用

(2) グローバル人材の育成

- ア 英語四技能習得にむけた教科の枠を超えた教育活動の推進

(3) 「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力等」、「学びに向かう力・人間性等」を育むための授業力向上

- ア 授業評価のPDCA サイクルによる授業改善と教員相互が切磋琢磨できる校内環境づくり
イ 主体的・対話的で深い学び及び能動的授業の推進

※ 学校教育自己診断（保護者版）、授業のわかりやすさに係る肯定回答率、令和6年度70%以上をめざす。(R1:58%・R2:61%・R3:64%)

※ 学校教育自己診断（教職員版）、「主体的・対話的で深い学び」に取り組む教職員の割合、令和6年度95%以上をめざす。

(「主体的・対話的で深い学び(旧AL)に取り組む教職員の割合」 R1:80%・R2:79%・R3:89%)

2. 志高く“社会を切り拓く力”の育成 ▷「志をカタチに」

(1) 生徒の将来を見据えたキャリアサポート

- ア 全方位の進路マップによる、早期の生徒・保護者の進路意識の醸成
イ 卒業生による分野別説明会等の実施によるキャリア意識の涵養

※ 第3学年4月の進路希望調査(4年制大学・短期大学進学者)の実現率、令和6年度80%以上をめざす。(R1:69%・R2:65%・R3:80%)

3. 自己肯定感を持ち、社会人として“自律する力”を育む ▷「茨西 PRIDE」の涵養

(1) 自律を促す教育活動の展開

- ア 基本的な生活習慣の確立と規範意識の向上

(2) 自己肯定感を育む「安全安心な学校づくり」

- ア 人権道德教育委員会及を核として様々な人権課題に取り組み豊かな人権感覚を養うと共に、道德教育の推進を図る。
イ 教育相談委員会を核とした教育相談活動及び支援教育活動の活性化
ウ 交通安全教育や防災・防犯教育を通じた危機管理能力の向上と共助に係わる意識の涵養

※ 遅刻総数、令和6年度2,200人以下をめざす。(R1:3,232人・R2:2,310人・R3:2,372人)

※ 生徒・保護者向け学校教育自己診断「命の大切さ・豊かな心・人権感覚の醸成」に係わる質問の肯定回答率、令和6年度90%以上をめざす。

(生徒・保護者回答の平均 R1:69%・R2:79%・R3:83%)

4. 自分の周りの人、地域、世界と“つながる力”の育成 ▷「TEAM 茨西」の形成

(1) HR活動・生徒会活動・部活動や国際交流行事等を通して「つながる力」を育てる

- ア HR活動・生徒会活動及び部活動の活性化
イ グローバル社会を生きる力を育む国際交流事業等の維持及び推進

(2) 中高連携の推進と地域連携等の強化

- ア 中高連絡会・地域交流協議会等により地域連携を強化し、地域のボランティア活動を通じ社会貢献を推進する。
イ 卒業生・保護者・地域の教育に係る人材等を発掘し協力体制を構築する。

(3) 家庭との連携及びPTA活動の活性化

- ア 家庭連絡や意思疎通をきめ細かく行い、学校と家庭で連携した教育を推進する。
イ PTA活動の一層の活性化

※ 生徒の行事に係わる学校教育自己診断の肯定回答率、令和6年度90%以上をめざす。(R1:75%・R2:82%・R3:82%)

※ 部活動への一年次当初の加入率、令和6年度75%以上をめざす。(R1:70%・R2:67%・R3:71%)

※ 保護者への連絡及び意思疎通の項目の肯定回答率、95%以上を維持する。(R1:96%・R2:95%・R3:95%)

5. 教職員の“生徒に向き合う力”の強化

(1) 教職員がチームで生徒と向き合う

- ア 教職員の教育力を伸ばすための組織的な計画の策定による職員研修等の実施
イ 教職員の働き方改革を実現し、生徒と向き合うゆとりを確保する

※ 教職員向け学校教育自己診断において全ての項目で肯定回答率令和6年度90%以上をめざす。(R1:3/9項目・R2:1/9項目・R3:7/9項目)

【学校教育自己診断の結果と分析・学校運営協議会からの意見】

学校教育自己診断の結果と分析 [令和4年12月実施分]	学校運営協議会からの意見
<p>【生徒アンケート結果より】</p> <ul style="list-style-type: none"> 肯定的回答の割合が5項目について増加、1項目は維持、7項目で減少した。 ① 学校に行くのが楽しい 82% ⇒ 81% ↘ ② まじめな態度で授業を受けている 93% ⇒ 92% ↘ ③ 学校は生徒に配布しているChromebookを効果的に活用している 89% ⇒ 86% ↘ ※R3は、授業で情報機器（コンピュータ・プロジェクタ・iPadなど）を活用している ④ 他の先生が授業見学にくることがある 48% ⇒ 69% ↗ ⑤ 学校生活についての先生の指導は納得できる 71% ⇒ 69% ↘ ⑥ 茨木西高校は進路についての情報を知らせてくれる 87% ⇒ 85% ↘ ⑦ 将来の進路や生き方について考える機会がある 86% ⇒ 86% → ⑧ いじめについて私たちが困っていると真剣に対応してくれる 87% ⇒ 86% ↘ ⑨ 悩みなどがあるときに相談したいと思う先生がいる 53% ⇒ 63% ↗ ⑩ 命の大切さや社会のルールについて学ぶ機会がある 87% ⇒ 92% ↗ ⑪ 「体育祭」は、楽しく行えるように工夫されている 73% ⇒ 87% ↗ ⑫ 「文化祭」は、楽しく行えるように工夫されている 73% ⇒ 87% ↗ ⑬ 「修学旅行」は楽しく行えるよう工夫されている 91% ⇒ 89% ↘ ・昨年度は臨時休業中のオンライン授業でタブレットをよく活用したが、今年度はその機会が減少したためと考えられる。(③) ・授業見学を全教員が年2回以上行うよう指示し、見学日時を職員室に掲示したことにより、積極的に授業見学に行くようになったと考えられる。(④) ・教育相談や人権道徳教育に丁寧に取り組んだ成果が現れている。(⑨⑩) ・体育祭と文化祭を通常に近い内容で実施できるようになったため、満足度が上がったと考えられる。(⑪⑫) <p>【保護者アンケート結果より】</p> <ul style="list-style-type: none"> アンケート回収率が6ポイント減少した(R3:77%、R2:83%、R1:73%)。 肯定的回答の割合が2項目について増加、1項目は維持、6項目で減少した。 ① 子どもは学校に行くのを楽しみにしている 75% ⇒ 76% ↗ ② 子どもは、授業がわかりやすいと言っている 64% ⇒ 56% ↘ ③ 茨木西高校の生徒指導の方針に共感できる 81% ⇒ 75% ↘ ④ 茨木西高校は、将来の進路実現に向けた適切な指導をしている 77% ⇒ 77% → ⑤ 茨木西高校は、いじめについて子どもが困っていることがあれば真剣に対応してくれる 82% ⇒ 76% ↘ ⑥ 茨木西高校は、豊かな心や人権感覚を持ち、自分の生き方を考える生徒を育てようとしている 79% ⇒ 78% ↘ ⑦ 茨木西高校は、色々な手段（携帯メールなど）で家庭への連絡や意思疎通をきめ細かく行っている 95% ⇒ 91% ↘ ⑧ 授業見学や懇談会、進路説明会などの活動に参加したことがある 69% ⇒ 70% ↗ ⑨ 体育祭や文化祭などの学校行事に参加したことがある 69% ⇒ 46% ↘ ⑩ 学校1人1台端末を効果的に活用している 新規 82% ・2年生は英語教諭の病休により、1か月半、習熟度別展開授業ができなかった。当該学年の1年次では59%(R3)であったが、2年次では53%(R4)となった。この2年生の減少により、今年度は大きく減少した。(②) ・自転車指導や服装についての要望がある。今後も丁寧な説明に努める。(③) ・3年生は76%であるが、当該学年の2年次は83%であった。この学年の減少により、今年度は減少した。しかし、3年生ではいじめ案件が0であり、いじめアンケートでも事案が見当たらなかった。いじめに気付くことができている可能性があるため、今後もきめ細やかな生徒観察に努める。(⑤) ・今年度は家庭へ臨時休業等の緊急連絡をする機会が減少したためと考えられる。また今年度、保護者用メール配信システムを導入したが、登録率が100%に達しておらず、周知が徹底できていない。次年度も登録を働きかける。(⑦) ・昨年度はオンラインの視聴を含めての結果である。今年度は通常の実施となり、中継をしなかったことが減少の要因として考えられる。(⑨) <p>【教職員アンケート結果より】</p> <ul style="list-style-type: none"> アンケート回収率は100%(R3:100%、R2:100%、R1:83%)。 肯定的回答の割合が3項目について増加、1項目は維持、5項目で減少した。 ① 学校の教育活動について、教職員で日常的に話し合っている 90% ⇒ 93% ↗ ② 教育活動全般にわたる評価を行い、次年度の計画に生かしている 86% ⇒ 85% ↘ ③ この学校では、カウンセリングマインドを取り入れた生徒(生活)指導を行っている 92% ⇒ 93% ↗ ④ 生徒一人ひとりが興味・関心・適性に応じて進路選択ができるよう、きめ細かい指導を行っている 92% ⇒ 100% ↗ ⑤ いじめ(疑いを含む)が起こった際の体制が整っており、迅速に対応することができている 98% ⇒ 96% ↘ ⑥ 教育相談体制が整備されており、生徒は学級担任以外の教職員とも相談することができる 91% ⇒ 91% → ⑦ 学校行事が生徒にとって魅力あるものとなるよう、工夫・改善を行っている 90% ⇒ 89% ↘ ⑧ 教育活動に必要な情報について、生徒・保護者や地域への周知に努めている 100% ⇒ 96% ↘ ⑨ 生徒の能動的な学習への参加を取り入れた教授・学習法を行っている 89% ⇒ 94% ↗ ⑩ 学校は生徒に配布しているChromebookを効果的に活用している 新規 100% ・進路説明会や学校見学等、年間を通じた指導体制が整備されているため、自信をもって進路指導に当たることができているためと考えられる(④)。 ・今年度、保護者用メール配信システムを導入したが、登録率が100%に達しておらず、周知が徹底できていない。次年度も登録を働きかける。(⑧) 	<p>◆令和4年度 大阪府立茨木西高等学校 第1回 学校運営協議会(記録概要)</p> <p>日時：令和4年5月25日(水) (本校校長室)</p> <p>1) 学校長挨拶 2) 協議会委員並びに事務局員の自己紹介 3) 協議</p> <p>①令和4年度学校経営計画について (意見) 5(1)ミドルリーダーの登用については、学校の実情にあわせ、人数も含めて、再考してはどうか。 (意見) 全体を通して、年々、どの項目も達成率が向上しているため、高い目標設定にされている印象。しかし、項目によっては、1%向上させるだけでもかなり難しいものもあると感じている。数値目標を設定する必要は理解できるものの、目標設定の基準については、どこかのタイミングで精査されてもいいのかなと感じています。 ⇒今年度の状況を鑑み、精査していきたい。</p> <p>◆令和4年度 大阪府立茨木西高等学校 第2回 学校運営協議会(記録概要)</p> <p>日時：令和4年9月28日(水) (本校校長室)</p> <p>1) 学校長挨拶 2) 近況報告 3) 協議</p> <p>①授業見学等を振り返って (感想) 茨木市内の中学校と比べると、ICT活用率が向上している印象。 (意見) クラスの人数を減らすことはできないのか。 ⇒募集人数や1クラスの人数は、予め、決まっている。</p> <p>②「令和4年度学校経営計画」進捗状況について (意見) 登校時の自転車左側通行が、幼稚園バスの通行の妨げになっている。 ⇒学校側で対策を考える。警察にも相談してみたい。 (意見) 1年生の部活加入率70%以上を目標としているが、他校はもっと高い設定である。もっと高まると嬉しい。 ⇒より高い加入率をめざしているが、そこまでには至らない。生徒からは、ほどほどに活動したい、週に3日でよいといった意見もあり、模索している。 (質問) 文化祭の劇で、異性の役をしてはいけないのか。 ⇒生徒会・人権委員会が精査し、笑いや差別に繋がることがない場合は、異性の役をすることを認めている。</p> <p>③「令和5年度使用教科用図書」の決定について ⇒承認 ④スクール・ミッションについて ⇒委員からの意見を集約し、10月末までに提出をめざす。 ⑤その他(報告) 生徒・保護者・卒業生・教職員から案を募り、7点の応募があった。生徒会役員・PTA実行委員・教職員でアンケート調査を行い、上位3点に絞り込んだ。後援会・同窓会からも意見を聞き、最終決定する予定。 ⇒結果について承認</p> <p>◆令和4年度 大阪府立茨木西高等学校 第3回 学校運営協議会(記録概要)</p> <p>日時：令和5年2月17日(金) (本校校長室)</p> <p>1) 学校長挨拶 2) 近況報告 3) 協議</p> <p>①「令和4年度学校教育自己診断」集計結果について (意見)【教職員】④「きめ細かい指導を行っている」は100%だが、【保護者】④「適切な指導をしている」は70%である。自信をもって指導していることは素晴らしいが、伝わっていないのが残念。 (意見)【保護者】⑨「学校行事に参加したことがある」の数値が大幅に減少しているのが気になる。コロナ禍の影響もあるかもしれないが、参加率ももっと上がればよい。</p> <p>②「令和4年度学校経営計画及び学校評価」達成状況について (感想) 個別には数値が下がっているものもあるが、全体的には順調に数値が上がっている、施策がうまくいっているという印象を受けた。 (意見) 自主的な個別学習動画の生徒視聴率が少ない。 ⇒学校としても課題として考えており、今後対応していきたい。 (意見) 教職員の時間外労働が増えているため、対策を検討して欲しい。 ⇒学校行事等が通常通りの実施となり、残業時間が増えた。来年度から働き方改革により、水曜日を定時退庁日とする。</p> <p>③「令和5年度「学校経営計画及び学校評価」について (意見) 新規事業が欲しい ⇒電子黒板の活用および国際交流を盛り込む方向で検討したい。 (意見) 地域連携のなかに、マスコットを活用する事業を検討してほしい。</p>

3 本年度の取組内容及び自己評価

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標[R3年度値]	自己評価
1 確かな学力	<p>(1) 生徒の学習支援 ア・授業規律の徹底</p> <p>イ・学習支援体制の構築 ・教育産業の有効利用 ・外部模試の校内実施</p> <p>ウ・自学自習の環境整備及び運用</p> <p>(2) グローバル人材の育成 ア・英語教育の一層の推進</p> <p>(3) 授業力向上 ア・教職員が切磋琢磨できる環境づくり</p> <p>イ・「主体的・対話的で深い学び」の推進 ・ICT活用推進</p>	<p>(1) 生徒の学習支援 ア・授業規律の徹底と間かせる授業づくりによる学力保証</p> <p>イ・長期休暇中の講習実施による学習支援 ・教育産業を活用した自学自習動画教材の活用による弱点補強 ・外部模試の活用による客観的な自己分析</p> <p>ウ・学習意欲維持のための自習室及び質問コーナー活用推進</p> <p>(2) グローバル人材の育成 ア・英語活用能力としての英語四技能習得に向けた取組み</p> <p>(3) 授業力向上 ア・授業マイスターの指名及び相互の授業見学の活性化による授業力の向上</p> <p>イ・「主体的・対話的で深い学び」の研修及び授業見学による教授法等の共有 ・ICT機器の一層の充実と生徒1人1台の学習端末の有効利用</p>	<p>(1) 生徒の学習支援 ア・授業規律を守る生徒割合 90%以上を維持[93%]</p> <p>イ・長期休暇中の講習への参加のべ人数 400名以上 [316名] ・自主的な個別学習動画の生徒視聴率 60%以上 [58%] ・外部模試参加者数のべ 400名以上 [351名]</p> <p>ウ・自習室及び質問コーナーの活用数のべ 900名 [851名]</p> <p>(2) グローバル人材の育成 ア・英語四技能習得に向けた英語スピーキング力測定ツールの全学年で年1回実施 [実施できず]</p> <p>(3) 授業力向上 ア・学校教育自己診断(生徒)「他の先生が授業見学にくる」肯定回答率 55%以上 [48%]</p> <p>イ・「主体的・対話的で深い学び」に取り組む教職員の割合 90%以上 [89%] ・タブレットの授業活用率 75%以上 [新規]</p>	<p>(1) 生徒の学習支援 ア・授業規律を守る生徒割合 91% (○)</p> <p>イ・長期休暇中の講習への参加のべ人数 300名 (△) ・全生徒がHR等で学習動画を視聴。(○)しかし、家庭等での自主的な視聴率が10%であることが課題。 ・外部模試参加者数のべ 304名。(△)</p> <p>ウ・自習室及び質問コーナーの活用数のべ 894名 (△)</p> <p>(2) グローバル人材の育成 ア・全学年、英語スピーキングテストを2回実施 (◎)</p> <p>(3) 授業力向上 ア・年2回目の振り返りシート提出と授業改善に向けた個別面談を実施。(○)学校教育自己診断(生徒)「他の先生が授業見学にくる」肯定回答率 69% (◎)</p> <p>イ・「主体的・対話的で深い学び」に取り組む教職員の割合 94% (◎)また、外部講師による教員研修を実施。 ・学校教育自己診断(生徒)「学校は、Chromebookを効果的に活用している」肯定回答率 86% (◎)</p>
2 社会性の拓く力	<p>(1) キャリアサポート ア・自己の進路決定に対する早期の意識づけ ・希望する進路の実現</p> <p>イ・キャリア形成意識の涵養</p>	<p>(1) キャリアサポート ア・早期の意識づけのための保護者との進路スケジュール等の情報共有 ・進路実現に向けた様々なサポートの強化</p> <p>イ・卒業生による分野別説明会の実施によるキャリア意識の涵養</p>	<p>(1) キャリアサポート ア・学校教育自己診断(保護者)「適切な進路指導」肯定回答率 80%以上 [77%] ・第3学年4月の進路実現率 80%以上を維持 [80%]</p> <p>イ・卒業生による分野別説明会アンケート肯定回答 95%以上 [90%]</p>	<p>(1) キャリアサポート ア・学校教育自己診断(保護者)「適切な進路指導」肯定回答率 77% (△) ・第3学年の進路実現率 90% (◎)</p> <p>イ・分野別説明会アンケート肯定的回答率 95% (○)フィールドワークに係るアンケート肯定回答率 94%</p>
3 自律する力	<p>(1) 自律を促す教育活動 ア・基本的生活習慣の確立 ・規範意識の向上</p> <p>(2) 安全安心な学校づくり ア・人権感覚の醸成 ・道徳教育の推進</p> <p>イ・教育相談及び支援教育活動の充実</p> <p>ウ・交通安全指導の徹底 ・定期的な通学安全指導の実施</p>	<p>(1) 自律を促す教育活動 ア・生活指導の基本方針を生徒および保護者に周知 ・遅刻指導の徹底による朝の学習環境の保証</p> <p>(2) 安全安心な学校づくり ア・計画的な人権教育の推進によって同和問題やネットトラブル等に対応できる生徒を育てる ・計画的な道徳教育の推進によってコロナ禍の中で望ましい行動や判断等ができる生徒を育てる</p> <p>イ・担任会や委員会等での教育相談及び支援教育の情報共有の徹底</p> <p>ウ・入学時等の交通安全指導の実施 ・保護者、地域、警察と連携した通学安全指導による見守りの継続</p>	<p>(1) 自律を促す教育活動 ア・「生指だより」等を年5回自宅郵送し学校教育自己診断(保護者)「生徒指導の方針に共感」肯定回答率 80%以上を維持 [81%] ・遅刻者数 3%減 [2,372名]</p> <p>(2) 安全安心な学校づくり ア・「ネットトラブルの対応に関する講演会」の肯定回答率 70%以上 [新規] ・学校教育自己診断(生徒)「命の大切さ、社会のルール」に係るアンケートの肯定回答率 90%以上 [87%]</p> <p>イ・学校教育自己診断(生徒)「いじめ・悩みの相談」に係る項目の肯定回答率 70%以上を維持 [70%]</p> <p>ウ・登下校時の事故数 10件以下 [11件] ・保護者、地域、警察と連携した通学安全指導年5回の実施を継続</p>	<p>(1) 自律を促す教育活動 ア・「生指だより」等を年5回自宅郵送し学校教育自己診断(保護者)「生徒指導の方針に共感」肯定回答率 75% (△) ・遅刻者数 3,118名 (△)</p> <p>(2) 安全安心な学校づくり ア・「ネットトラブルの対応に関する講演会」の肯定回答率 98% (◎) ・学校教育自己診断(生徒)「命の大切さ、社会のルール」に係るアンケートの肯定回答率 88% (△)</p> <p>イ・学校教育自己診断(生徒)「いじめ・悩みの相談」に係る項目の肯定回答率 75% (◎)</p> <p>ウ・登下校時の事故数 12件 (△) ・計画通り5回実施 (○)</p>
4 つながる力	<p>(1) HR活動、生徒会、部活動の活性化 ア・HR活動の活性化 ・生徒会活動の活性化 ・部活動の活性化</p> <p>イ・世界とつながる力の涵養</p> <p>(2) 小中及び地域との連携強化 ・中高連携の強化 ・地域連携の強化</p> <p>(3) 保護者との連携強化 ・きめ細かい家庭との連携</p>	<p>(1) HR活動、生徒会、部活動の活性化 ア・計画的なロングホームルーム(LHR)の実施 ・生徒会主働による行事の見直し及び新しい企画の立案 ・部活動参加生徒数の増加</p> <p>イ・オーストラリア語学留学の相手校との連携維持</p> <p>(2) 小中及び地域との連携強化 ・地元3中学校との連絡協議会の開催と連携事業の実施 ・地域行事等への生徒参加</p> <p>(3) 保護者との連携強化 ・メール配信・封書連絡等を通じ、学校との連携強化</p>	<p>(1) HR活動、生徒会、部活動の活性化 ア・3学年のLHR計画を学年主任会議で企画・調整し、学校教育自己診断(教職員)「学校行事が魅力ある」の肯定回答率 90%以上を維持 [90%]。 ・学校教育自己診断(生徒)の生徒会行事における満足度 80%以上 [78%] ・1年生の部活動加入率 70%以上を維持 [71%]</p> <p>イ・オーストラリア語学留学の相手校とのWebミーティング等の開催 [2月に開催予定]</p> <p>(2) 小中及び地域との連携強化 ・地元3中学校との連絡会及び出前授業等の昨年度同様の実施 [連絡協議会: 3回 出前授業実施: 3校] ・地域行事等へのボランティア参加生徒数 25名以上 [実施できず]</p> <p>(3) 保護者との連携強化 ・学校教育自己診断(保護者)「家庭連絡や意思疎通をきめ細かく」肯定回答率 95%以上を維持 [95%]</p>	<p>(1) HR活動、生徒会、部活動の活性化 ア・学校教育自己診断(教職員)「学校行事が魅力ある」の肯定回答率 89% (△) ・学校教育自己診断(生徒)の生徒会行事における満足度 88% (◎) ・1年生の部活動加入率 71.4% (○)</p> <p>イ・オーストラリア姉妹校とのWeb交流を実施。韓国の高校とも交流を行った。次年度は、11月に来訪予定 (○)</p> <p>(2) 小中及び地域との連携強化 ・地元3中学校連絡会3回、出前授業4回実施。(○)生徒による母校訪問を実施、中学校の肯定的回答率 85% ・地域行事等へのボランティア参加生徒数 56名 (◎)</p> <p>(3) 保護者との連携強化 ・学校教育自己診断(保護者)「家庭連絡や意思疎通をきめ細かく」肯定回答率 90% (△)</p>

府立茨木西高等学校

5 生徒と向き合う力	<p>(1) チームで生徒と向き合う</p> <p>ア・生徒指導の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支援教育体制の再構築 ・発生する諸問題に「チーム茨西」として対応 ・ミドルリーダーの育成 <p>イ・教職員の働き方改革</p>	<p>(1) チームで生徒と向き合う</p> <p>ア・カウンセリングマインドを取り入れた生徒指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SC とも連携した支援教育体制の構築 ・校内状況に適應するための臨機応変な研修の実施 ・ミドルリーダーの積極的な徴用 <p>イ・校務の精査とチーム力の向上により、生徒と向き合う教職員のゆとりを確保する</p>	<p>(1) チームで生徒と向き合う</p> <p>ア・学校教育自己診断(教職員)「カウンセリングマインドを取り入れた指導」肯定回答率 90%以上 [92%]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員研修に関する肯定回答率 80%以上 [75%] ・学年主任および運営委員にミドルリーダーを5名登用する <p>イ・月当たりの時間外労働が 80 時間を超える教職員のべ 35 名以下 [のべ 29 名]</p>	<p>(1) チームで生徒と向き合う</p> <p>ア・学校教育自己診断(教職員)「カウンセリングマインドを取り入れた指導」肯定回答率 93% (○)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SC の活用回数件数 120 件 ・職員研修に関する肯定回答率 80% (○) ・首席・学年主任・運営委員にミドルリーダーを3名登用、指導主事に1名合格 (△) <p>イ・80 時間を超える教職員はのべ 52 名と激増 (△)</p>
---------------	--	---	--	--